

鍛造業界における型取引適正化の状況



第5回 型取引の適正化推進協議会

令和2年12月10日

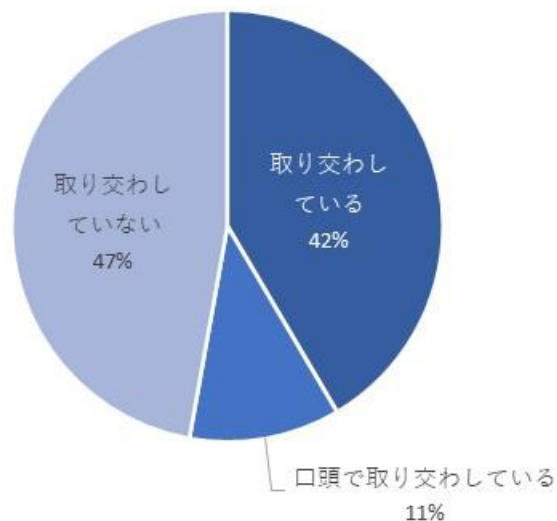
一般社団法人日本鍛造協会

型取引の適正化に関するアンケート結果(抜粋)

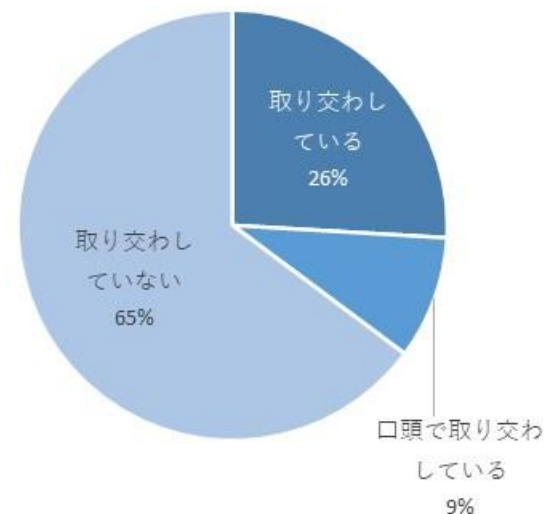
- アンケート実施: 令和2年10月1日
- 調査対象企業数: 122社 回答企業数: 54社 回収率: 44.3%

[取引先取り決め事項の書面化について]

型費の支払い方法、支払期日について



型の廃棄・保管、費用負担について



型取引の適正化に関するアンケート結果(抜粋)

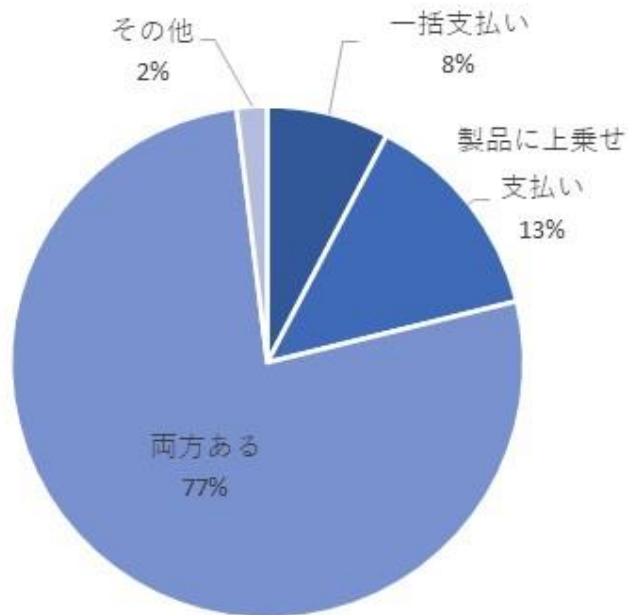
[取り決め事項の書面化に関する困りごと]

- ・量産品であれば製品への割掛、ごく少量品は、5年程度割掛、試作品は別途協議で決めているが、書面化されておらず、担当者の裁量によることが多く解釈が曖昧になっている。
- ・型費の支払いは、都度交渉となっているので、補給時や打ち切り時の補償が曖昧となっている。
- ・保守部品の供給責任があるほど長期間の金型保管を強いられるが、保管費用を請求してしまうと、次の案件に影響が出てしまいそうで請求できていない状況。
- ・型の保管期限が不明確になっている。
- ・書面化したいが、依頼側が書面化しないケースが多く、実際には取り交わしていない。

型取引の適正化に関するアンケート結果（抜粋）

[金型費の支払いについて]

[金型費の支払いに関する困りごと]

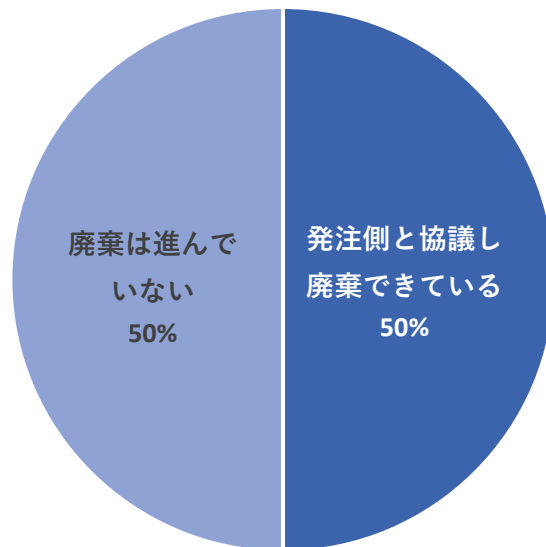


- 部品単価割りかけの場合、金型材料費の見直しができない。
- 試作時の型支払い有無が曖昧。（量産型が前提のため、試作型の支払いが無い場合がある）
- 投資のタイミングと回収のタイミングがずれることにより、資金繰りに影響を及ぼす。
- 製品打ち切り時に、型費の補償を認めない取引先がある。
- 企画台数変更時の再見積の機会がない。逆に、増えた場合は、半期毎の合理化でコストダウン要求がある。

型取引の適正化に関するアンケート結果（抜粋）

[不要な型の廃棄状況について]

[型の廃棄が進まない理由]

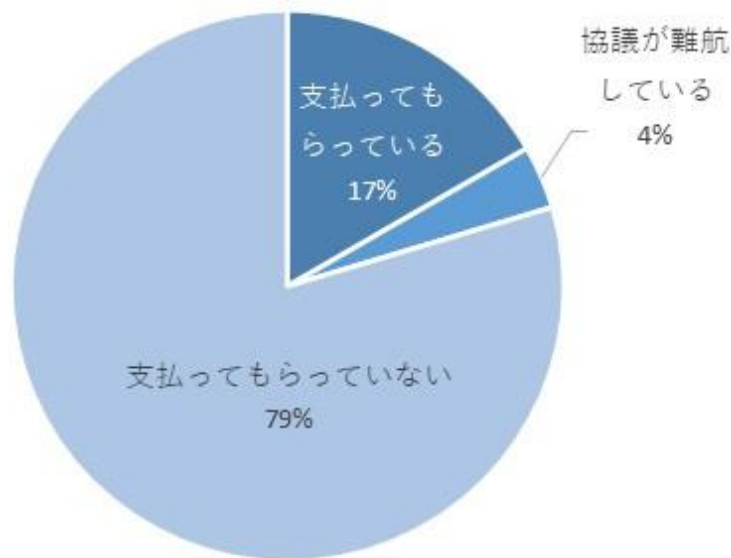


- 廃番製品なのか曖昧で、結局は保管しておくことになる。
- いつから補給になったか不明確で、いつまで補給対応しなければならないか把握できていない。
- 客先での廃棄判断が曖昧。廃棄指示が明確ではない。
- 型の保管期限が不明確なため、交渉が進まない。

型取引の適正化に関するアンケート結果（抜粋）

[発注側企業による補給型保管費用に支払いについて]

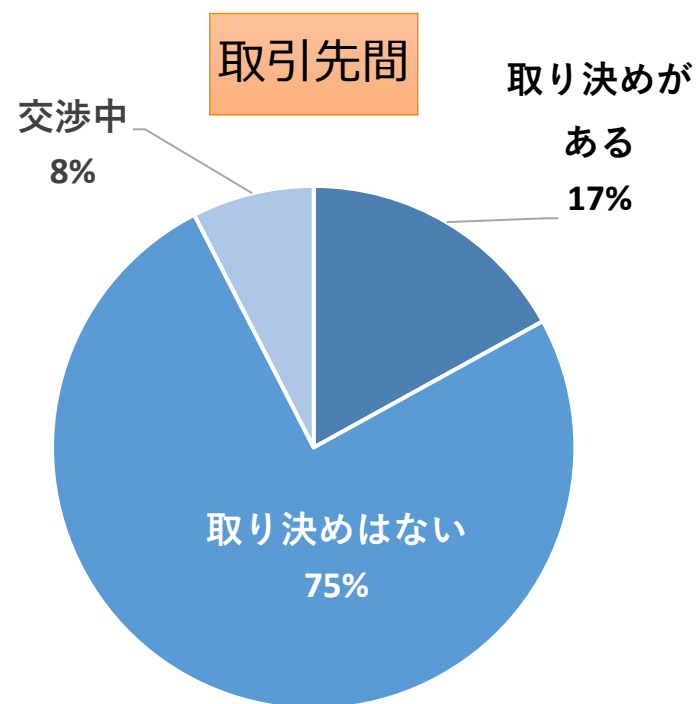
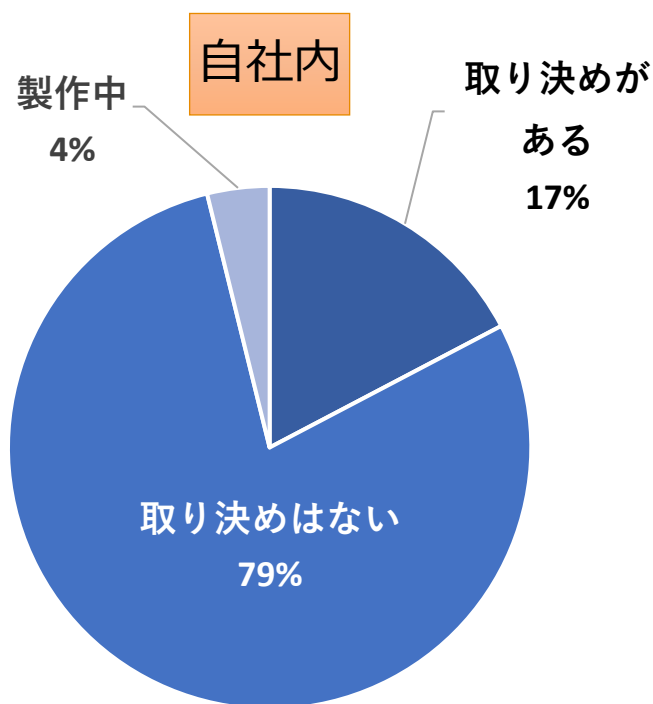
[困 り ご と]



- ・ 客先内にルールがなく、支払ってもらえない。
- ・ 以前と比較すると、客先の対応は変化しつつあるが、型保管費用を支払っている既存客先はない。
- ・ 型の保管、廃棄指示がなく、曖昧。補給型保管費用はもらえず、独自に仕掛、製品で保管している。
- ・ 検討いただける客先もあるが、単価上乗せの考え方のみで、全く納入が無い場合、回収の手立てがない。 毎月定額の支払いはほど遠い。

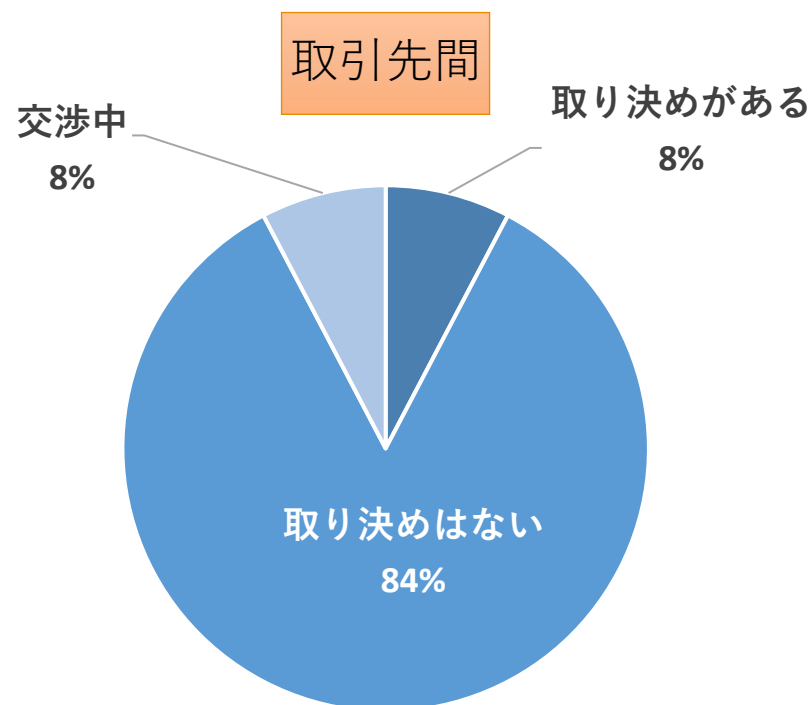
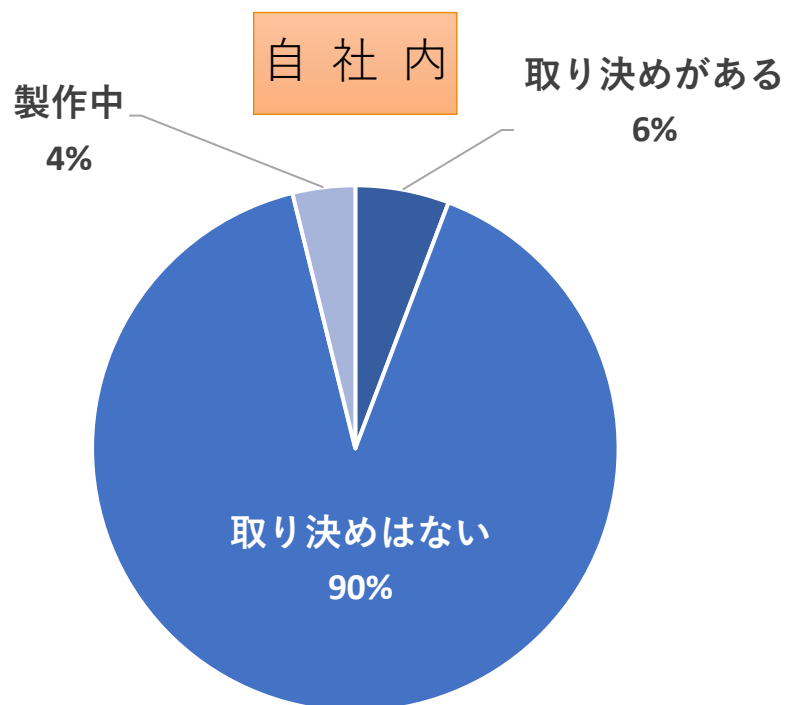
型取引の適正化に関するアンケート結果（抜粋）

[補給型の保管期間の取り決めについて]



型取引の適正化に関するアンケート結果（抜粋）

[補給型の保管費用の取り決めについて]



型取引の適正化に関するアンケート結果（抜粋）

[交渉して解決できた事例]

- 補給型保管費用について、客先がガイドラインを出した場合は手続きに従い回収できたケースもある。
- 生産打ち切りの金型は、命数に応じ、その費用を請求し、相手先も支払いに応じてくれた。
- 長期滞留金型の要、不要を発注側に問い合わせ、書面にして回答をもらい、廃棄処分が進んだ。
- 一括払いを受け、預かり型となっている試作型については、半期毎に廃棄か保管かの確認を要求し、結果、ほぼ廃棄している。
- 補給パーツの金型費は、一括または製品代に上乗せしている。補給部品について年1回顧客に必要なかを確認している。
- 小ロット品に関しては、償却費払いにすると期間が長くなりすぎることで交渉を行い、一括払いへと変更してもらった。

当協会としてのこれからの取り組み

この度のアンケート結果で、「取り決め事項の書面化」が未だ大きな課題となっていることが浮き彫りになったほか、多少の改善はみみられたが、残念ながら、全体的に型管理に関する取引の適正化が進んでいるとは言い難い状況が明らかになった。

当協会としては、これを受け、型取引適正化推進協議会報告書の周知徹底を図るとともに、当業界における型取引ガイドラインの作成、そして、取引適正化に向けた説明会、勉強会を展開することで準備を進めている。